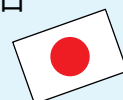




パリにある国際機関で働くKさんの1日



AM 7 : 00 起床

秋のヨーロッパの朝は7時でもまだ暗い。起きるのが大変だ。

AM 8 : 00

出勤。

職場までは地下鉄で2駅，所要時間約15分。

でも今朝は晴れているのでエッフェル塔を見ながら20分歩いていく。

AM 8 : 30

仕事開始。

職場はフレックスタイム制なので出勤している人はまだ一部。

まずはインターネットで日本の新聞のチェック。興味深い日本の教育に関するニュースがあれば簡単に訳して同僚にメールで参考情報を送る。日本の情報は積極的に発信しないと情報が不足しがちだ。日本語のみのホームページが多いので，同僚たちも日本の情報収集には苦労しているようだ。

次にメールのチェックをする。担当しているプロジェクトの会議の出席者との連絡や準備はほとんどメールベース。上司にも逐一状況を報告するかわりに同じメールをコピーで送信しておく。

AM 10 : 00

同じプロジェクトを担当してる上司と秋の会議についての打ち合わせ。

彼はイギリス人なので打合せは英語。



でもこの国際機関では公用語は英語とフランス語なので，フランス人の同僚と一緒にいる場合には，時々，フランス語に変わってしまうので大変だ。

AM 11 : 00

担当プロジェクトのための情報収集や資料作成などを進める。

途中で同僚から日本に関する質問を受ける。日本人だと当たり前かと思っていることを改めて説明するのはなかなか難しい。

そのためには，やはり，日本の文化や歴史をよく知っていないといけない。

PM 0 : 00

今日は同僚のフランス人のBと約束していた昼食。

Bは話し出すと長くなるので、今日は時間のかからない日本食に行くことを提案する。それにしても職場近くの日本食レストランはお寿司好きのフランス人でいっぱいだ。

同僚のBの愚痴を聞きながら、人間の感情なんて基本的にはみんな同じなんだなぁと実感。やはりコミュニケーションがうまくできればお互いへの理解は深まるはずだ。



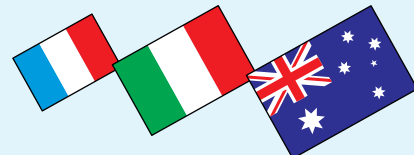
PM 1 : 30

午後の仕事開始。担当するプロジェクトに協力してもらっているオランダ人とイギリス人の専門家との打合せ。

今後のプロジェクトの進め方等について情報交換をする。黙っているとどんどん話が進められてしまうので、自分の意見はしっかりと主張しておかなければならない。

PM 4 : 00

職場のスタッフミーティング。今日は禁煙のルールなど職場環境について。国際機関では職員の文化的背景が違うからこそみんなが気持ちよく働くために意識的にルール作りをしなければならない。



PM 8 : 00

今日は職場の友人たちと家で夕食会。

様々な国出身の同僚たちと得意料理を持ち寄って集まる。今日はフランス料理はもちろん、イタリア料理、オーストラリア料理、ベトナム料理、ドイツ料理、スリランカ料理などがテーブルに並ぶ。みんなで夕食を食べながら、それぞれの家族の話をする。親子関係、夫婦関係など国によって様々な事情があるのでおもしろい。



PM 11 : 00

帰宅。日本にいる夫や友人達へメールを送る。

時間や距離を飛び越えてしまうメールは本当に便利だ。

AM 0 : 00 就寝